

明治安田生命保険千葉支社長賞

光子様/愛媛県/63歳/女性/主婦/義父にあてた手紙

お父さん 父ちゃん 10月おやじ。友人
 たちがごご当たり前に発する言葉。けれど母
 一人を一人の我が家には無縁の言葉でした。
 っふふ。として一生口にする事は無いかも一
 と。思っ。た事もありました。が。幸せな事に
 大好きな人と巡り会い結婚。と。同時に私に
 も。お父さん。と。呼べる人がふきました。
 何度も何度も口に出して。お父さん。と。練
 習したけれど。いざお父さんの前に出るとな
 かなか呼ばませんでした。

いつも総やがな笑みを浮かべている優しい
 お父さん。大変な苦労人だ。た事を聞きまし
 た。七人兄弟の末。子として生まれ小学校を
 卒業するとすむ。任み込みで働く事を余儀なく
 された。しま。た。勉強が大好きで本当は進学
 した。た。たのにね。職場ではきつ。い。仕事。歳
 しい先輩。夜。布団の中で何度も泣いた。そう
 です。ね。いつも空腹で月に一度。仲の良。い。兄
 さんが定宿屋さんに連れて行ってく。い。る。事。だ
 けが唯一の楽しみだ。た。事。話。を。聞。き。ち。よ。

びり涙ぐんでしまいました。でもお母さんと
 しあわせな家庭を築きその後は順風満帆。
 初孫を御披露目するために帰省した時。お
 父さんは嬉しそうに赤ん坊の顔を眺めるだけ
 を求めて抱。こ。は。し。ま。せ。ん。で。し。た。ね。職業柄
 指先が黒くな。っ。て。し。ま。っ。て。い。た。お父さんは気
 を遣。っ。て。赤ん坊に触れな。い。よう。に。し。て。い。た。ん
 ぶすね。その事を知。っ。た。私。
 っ。お父さん。抱。こ。し。て。下。さ。い。い。
 自然と言葉が出ました。その時のお父さんの
 照れくさ。さ。う。な。笑。顔。が。忘。れ。ら。れ。ま。せ。ん。写。真
 を。い。け。り。孫。を。抱。く。お父さんの最高の笑顔頂
 きました。

お父さん。いつも私たちのためにきめ細。や
 かな心遣。い。ありが。た。う。さ。い。ま。す。これ。か。ら
 も。お父さん。お父さんと連呼させて下。さ。い。
 っ。つ。ま。で。も。優。い。い。笑。顔。で。私。たち。を。見。守。っ。て。い
 っ。て。下。さ。い。

お父さん。ありが。た。う。さ。い。ま。す。